

広島県と日本体操協会との パルクールの競技力向上に関する協定



広島県



公益財団法人
日本体操協会

公益財団法人日本体操協会

令和5年6月30日

1 趣旨及び提案	3
2 パルクールと広島とのゆかり	4
3 連携事項	5
4 ジュニア・キッズ発掘・育成・強化プロジェクトの概要	6
5 今年度の取組（案）	7
参考 パルクールとは	8

1 趣旨及び提案

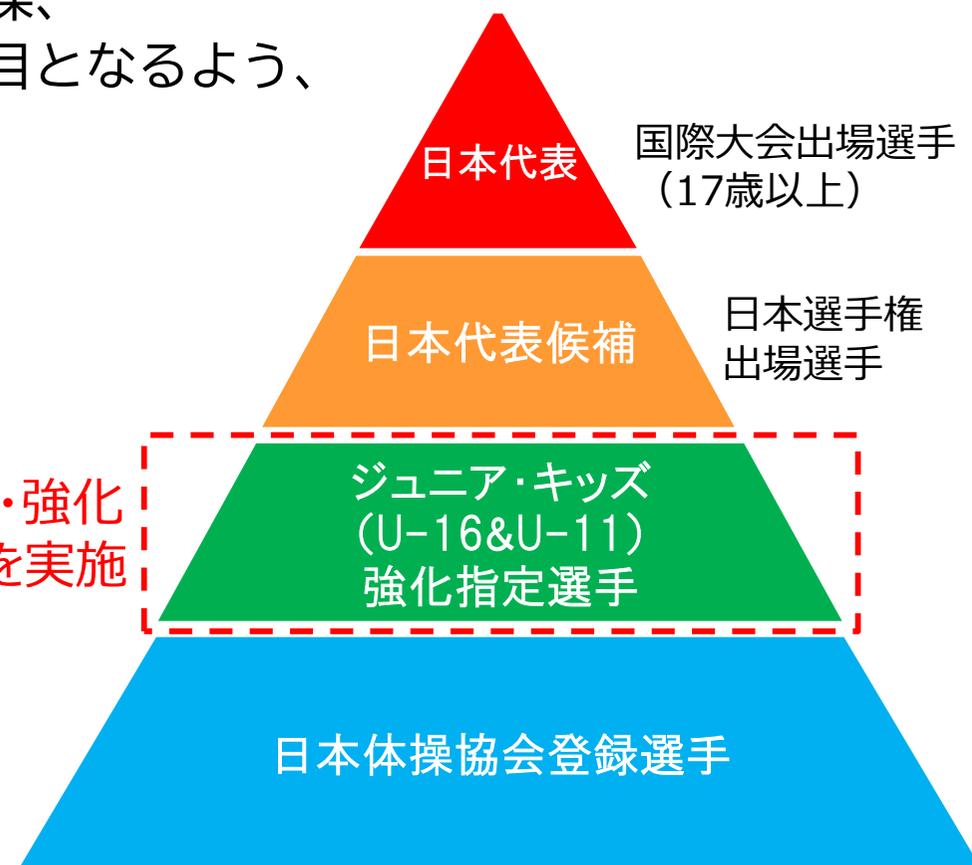
■ 趣 旨

日本体操協会は、パルクールが体操、新体操、トランポリンに続く4番目のオリンピック種目となるよう、競技普及や裾野の拡大に取り組んでおり、今後は、ジュニア選手（16歳以下）・キッズ選手（11歳以下）を発掘・育成・強化する体制を構築していく必要があります。

■ 提 案

来るオリンピック競技大会等、国際大会に向けてジュニア・キッズ選手を発掘・育成・強化する競技パルクールの本格的なプロジェクトを、パルクールとゆかりのある**広島**で実施したい。

発掘・育成・強化
プロジェクトを実施



2 パルクールと広島とのゆかり

■ 日本初の競技パルクールの国際大会が広島で開催

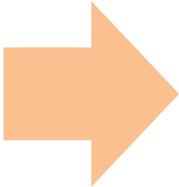
「FISE HIROSHIMA 2018」では19か国34名、
「FISE HIROSHIMA 2019」では17か国55名の選手が大会に参加。

■ 日本初の屋内パルクールジムが広島に開設

2018年に、荒本英世（現日本体操協会パルクール委員会委員長）が、
「MISSION PARKOUR PARK HIROSHIMA」を開設。

■ 全国大会のジュニア・キッズ部門で、広島出身の選手が活躍

2022年は、JGAパルクール・オンライン・コンペティションにおいて、
ジュニア部門は石田英太選手、古田雫選手、西本心結選手、
キッズ部門は赤木柊司選手と田村桃花選手が優勝。



パルクールの発掘・育成・強化のための環境が整っているのが**広島**！

3 連携事項

- (1) パルクール選手の発掘、育成及び強化に関すること
- (2) パルクール指導者の人材育成に関すること
- (3) パルクールの普及促進に関すること
- (4) その他甲と乙が連携して取り組む必要があると認めた事項

4 ジュニア・キッズ発掘・育成・強化プロジェクトの概要

■ 位置付け

来るオリンピック競技大会※等、国際大会に向けてジュニア・キッズ選手を発掘・育成・強化する、競技パルクールの本格的なプロジェクト

※ 2028年ロサンゼルスまたは2032年ブリスベンにて新種目となる可能性あり。

■ 主 催

公益財団法人日本体操協会

■ 協 力

広島県、広島県体操協会

■ 内 容

- ・ 選抜選手選考会により、ジュニア・キッズの強化指定選手を決定する。
- ・ 育成強化練習や育成強化合宿により、ジュニア・キッズ選手を育成・強化し、国際大会で活躍するトップアスリートを輩出する。

5 今年度の取組（案）

■ 選抜選手選考会

日 程：2023年7月29日(土)～30日(日)

場 所：広島県立総合体育館小アリーナ

対 象：国内のジュニア選手（16歳以下）及びキッズ選手（11歳以下）

■ 育成強化合宿

日 程：春休み、夏休み、冬休みの月曜日～木曜日に実施（4日間）
（2023年8月21日～24日、12月25日～28日、2024年3月25日～28日）

場 所：広島県スポーツ会館

■ 育成強化練習

日 程：長期休暇を除き、毎月土曜日～日曜日に実施（2日間）
（2023年9月30日～10月1日、10月21日～22日、11月11日～12日
2024年1月20日～21日、2月17日～18日）

場 所：広島県スポーツ会館

参考 パルクールとは

- パルクールは、様々な障害物（オブスタクルス）を、跳ぶ・飛ぶ・回る・越える・走る・掴む・振る・登る・降りる・捻るなどの動作を行いながら乗り越えていくスポーツです。
- 種目は、スタート地点からゴール地点まで、コース上の障害物（オブスタクルス）を超えながらタイムを競う“スピード”と、テクニックとクリエイティビティを競う“フリースタイル”があります。
- 現在、体操競技について国際的に統括する団体である国際体操連盟（FIG）が、2028年のロサンゼルスオリンピックや2032年のブリスベンオリンピックにおいて、オリンピック種目となるよう、取組を進めています。

